

京臨技会報

KYOTO ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所 (社)京都府臨床検査技師会
 発行責任者 今井 秀一
 編集者 白波瀬 浩幸
 〒606-8395 京都市左京区
 東丸太町9-1 マンパワービル 3F
 TEL・FAX 075-752-5090
 E.mail : mbox2@kyoto-amt.js-mu.ac.jp



CONTENTS

TOP	◆ 平成22年度・23年度 新執行部体制でスタート
GREETING	◆ 会長再任・新役員のごあいさつ
REPOT	◆ OB会主催講演会「苔から見える植物という生き方」
PROCEEDINGS	◆ 理事会議事録(第11回、第12回、第1回)
STAFFERS	◆ 平成22年度・23年度 理事・監事、班長名簿

平成22・23年度 新執行部体制でスタート

5月29日(土)に京都保健衛生専門学校において平成22年度京臨技総会が開催され、事業報告や事業計画、決算報告や予算案のほか、今井会長の再任などの役員人事が承認されました。

日臨技では公益法人化が検討されており、それを受けて近臨技では独立した法人格を取得するのではなく、支部化の方向で検討されています。上部団体の組織改革がおこなわれるなかで、京臨技でも公益法人とすべきか一般法人となるかについて、会員の立場に立った観点から検討を進めていかなければなりません。

また、日臨技では会長の改選を受けて、運営体制の大改革が行われようとしており、京臨技の運営にも大きな影響を受けることが予想されます。

従って平成22年度・23年度は、京臨技においても変革期を迎えることとなりますが、新執行部体制で会の円滑な運営に努めます。会員諸氏の益々のご協力をよろしくお願いいたします。



GREETING

ごあいさつ

会長再任のごあいさつ

会長 今井 秀一(綾部市立病院)

平成22年5月29日(土)に開催された定期総会において会長に再任いたしました。平成20年度・21年度の2年間、会長としての職務が全うできたかどうか少し疑問が残りますが、皆様のご支援をいただき大過なく務めることができました。とりわけ昨年11月末の第49回近畿医学検査学会では、1800余名の皆様に参加いただき大成功に終了させて頂きました。皆様から多大なご協力をいただいたことに大変感謝いたします。

今年度は、二名の副会長が交代し、四名の理事が退任して三名の新理事が加入しました。研究班においては、臨床化学研究班と血清研究班、病理研究班と細胞研究班がそれぞれ合同研究班として再編成されました。新体制の下、研究班単位の研修会事業、精度管理事業、事業部事業の充実にむけ精一杯努力いたします。

また、日臨技においては会長が交代となり、公益法人と地区の支部化、会費徴収方法の変更、日臨技会員と地臨技会員との関係等々が議論され変革されようとしています。会員皆様に密接にかかわることですので、京臨技の対応については、皆様のご意見を伺いながら理事会にて充分論議して進めて参りたいと思います。

臨床検査を取り巻く環境は楽観できるものではありませんが、厳しい状況を打破する方法は、検査に傾ける情熱を忘れないことだと思います。私自身は少々年をとり随分と疲れやすくなりましたが、情熱だけはまだまだあります。

今後とも皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新役員からひとこと



副会長 小澤 優(京都保健衛生専門学校)

このたび副会長に就任いたしました京都保健衛生専門学校の小澤です。平成14年に京臨技理事に就任して以来8年間事務局を担当してまいりましたが、今期はさらに重責である副会長の職を兼務することとなりました。今、中学生や高校生には将来の夢(希望)が持てないものが多くなっており、また社会人においては自分の仕事に誇りをもてないひが多くなっていると言われております。我々、法人格をもつ技師会がなすべきことは①職能団体としての会員のための学術活動②社会的地位向上を目指した社会活動③一般社会への臨床検査という職の啓蒙活動と考えております。これらを遂行することにより臨床検査をより一層誇りを持てる職業とし、また多くの若者が将来の職業として選ぶようになって欲しいと考えております。微力ではありますが、京臨技発展のために今まで以上に頑張っていきたいと思いますのでご指導の程よろしくようお願い申し上げます。

<退任理事>

芦田 英之 氏(前副会長)	京都第二赤十字病院
石澤 衛 氏(前副会長)	京都府立医科大学附属病院
丹羽 紀実 氏	京都大学医学部附属病院
西川 広 氏	堀川病院

今後とも、京臨技の活動へのご支援、ご鞭撻をよろしく願いいたします。



副会長 早瀬 泰行(いかぐ)

このたび副会長に御推挙いただきました早瀬と申します。

私事で申しわけありませんが、臨床検査技師となり今年で33年という古い人間です。

私が検査に携わった頃は、今のように自動分析機も市販のキットもない時代でした。自分で測定系を組み立てて、試薬を作り分析していた時代と比べ、現在は全てが準備される意味豊かな時代となってきました。それと比例し臨床検査技師としての役割が格段に増加し、質の高いマネジメントも求められるようになってきました。今後のチーム医療の中でいかに臨床検査技師が貢献していけるかを皆さんと一緒に考え、行動できればと考えています。そのために、技術職としての資質の向上と判断力を常に磨いていくため、皆さんにいろんな企画を提供していけるよう非力ですが頑張っていく所存です。

京都の技師会が活性化できるよう皆さんの積極的な参画をお願いします。



理事 岡 洋一郎(京都医療センター)

京臨技会員の皆様、はじめまして。

この度、理事に就任いたしました、国立病院機構・京都医療センター、臨床検査科の岡と申します。昨年度、大阪から転勤してきた新参者でございます。

さて最近、社会の関心事で、法人、理事という言葉で象徴される出来事といえば、事業仕分け。歳出削減が目的のように思われていますが、「公益」を“官”が独占する(公益国家独占)仕組みを見直し、国民自身が世の中を担っていく(公益国民分担)仕組みを作る…(構想日本より抜粋)」という本来の意味があるそうです。京臨技会員の皆様と同様に私も20年、税金ならぬ会費を技師会に納めて参りました。これまでも事業計画は理事会などにおいて十分に議論がなされ、遂行されてきたこととは思いますが、事業仕分けの意味するところを技師会に当てはめれば、改めて会員の皆様すべてはキャストであり、皆様総動員で京臨技を盛り上げていけるよう私も努めて参ります。末筆で恐縮ではございますが、どうぞ宜しくお願いいたします。



理事 笹田 祐司(京都府立医科大学付属病院)

この度、社団法人京都府臨床検査技師会理事を務めさせて頂くことになりました。

歴史ある京臨技は、これまで諸先輩の御努力により数々の成果を上げてこられました。理事就任にあたり、それを引き継ぐことに大変な重圧を感じております。

私はこれまで輸血部門で働いてまいりましたが、幹細胞採取、細胞の調整、細胞培養等今注目されている移植・再生医療の担当職種が明確でない業務を臨床検査技師の特定業務にできないかなどと考えておりました。微力ではありますが、臨床検査技師の地位向上ならびに職域の拡大に尽力できればと考えております。

これまで輸血検査研究班では仕事をさせて頂いたことはありますが、京臨技の仕事に携わったことがありませんので、諸先輩に学びながら進みたいと考えております。会員の皆様の御指導、御協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。



理事 辻 真一郎(京都桂病院)

今回、平成22・23年度の理事を担当することになりました。

京臨技 生理研究班長を2年務め、ようやく慣れてきたところですが、更に今年度からは、理事として技師会がどのように活動し、どのようにメリットを作っていくかを考えていきたいと思っております。具体的には府市民に臨床検査技師の存在をアピールできるような検査に関する啓蒙活動に加え、引き続き学術活動を主軸とした側面から会員の皆様にサポート出来るよう体制を整えていく所存でおります。

また、他理事や研究班員の皆様をはじめ、さまざまな人のご協力のもと、京臨技の発展に尽くしていきたいと考えていますのでよろしくお願い申し上げます。

<OB 会主催講演会> 2010.5.29

「苔から見える植物という生き方」

京都大学大学院生命科学研究所 助教
石崎 公備 先生



最初に魅せられた写真は左の3枚です。地球上で最も大きい生物は、アメリカのキングスキャニオンにあるセコイア杉で 100m 以上もあります。(右の写真) 大きさだけで言うと、「竹」は地下の根が全部つながっており 1 個の個体としては最も大きい生命体だそうです。そして現在の地球上で最も長寿な生物として最近スウェーデンで発見されたのが 9550 年の松の仲間トウヒーです。(写真/中央) 更にボルネオのジャングルに生える最大の花ラフレシアは寄生植物で 1 m 以上もあります。(左の写真・植物園の温室に掲示してあります。)

今から 4 億年前の地球の地表は苔類で覆われていたらしい。あくまで想像の世界ですが・・・

そんなところから話を切り出した石崎講師の話は、普段私たちが気にも留めていない苔が主役の話でした。植物の光合成によって地球に酸素が少しずつ増えてくる中で、オゾン層が形成され、紫外線がカットされる地球になり、動物も陸上に上がってきた。生物の多様性が形づくられる 30 億年以上前からの地球と生物の進化の過程を解りやすく語られた。

なぜ苔を調べるのかという素朴な疑問の答えは、話の全体を通じて理解できた。私たちの地球は植物の存在なくして、動物は存在しえない。その植物の多様性が研究者を引き付ける。水中の藻類が最初に陸上に上がり、苔類、シダ類、種子植物、被子植物と多様に進化していく過程を示し、植物の遺伝子中のイントロンという物質を調べると苔類が最も古い植物であることが解る。植物が一生涯をかけて「形作り」をするメカニズムを、苔を調べることにより、全ての植物に共通するメカニズムとして解明しようと石崎氏は考える。石崎氏は苔類の中でもゼニゴケに注目した。苔の中でもゼニゴケは、成長が著しく速く、生命力も強い。苔は原始の地球を探る絶好の材料である。ゼニゴケは増殖の過程で無限にクローンを作っていく。条件を変えると、有性生殖に切り替わる。わずかの水さえあれば、人間の精子と同じような精子が卵と受精して増殖していく。2ヶ月間のゼニゴケの成長の様子を23秒に短縮したビデオで見せられた時は驚愕の一瞬であり圧巻でした。



我々の身近にあるゼニゴケのゲノムや染色体を調べると色々なことが解ってきた。3年前に、それまで実験室での培養では(蛍光灯下)生殖器官を誘導出来なかったのが遠赤外光を同時に照射することによって成功した。オスの生殖器官に「水」を垂らすことによってメスと人工授精し増殖する。石崎氏は、ゼニゴケの遺伝子に細菌を使って遺伝子を組み換える手法を開発しました。(形質転換という)これによって「光る苔」などを作り出し、様々な形状の変化や細胞の中の遺伝子の働きを調べています。またゼニゴケに赤色光や遠赤外光を照らしたり照射の条件を変えると形状や成長の度合いに変化を起こすことも解ってきました。

今、世界の研究者に日本の京都大学の生命科学研究室からゼニゴケの株が配られているそうです。Takaragaike - 1 株 (宝が池国際会議場で採取) と Kitasirakawa - 1 株 (京大植物園で採取) というものが全世界に配られ、研究のスタンダードとなって実験に使われているとのこと。既に進化した植物を調べるのではなく、最も原始的でシンプルな苔が多様な植物の生き方を知る有効な手段なのです。以上のような主旨の講演でした。講演後の質問に対する講師の話から「すなごけ」は最近ビルの冷却化に利用されつつある。もっと研究が進めば、人間にとって苔が有効利用されるのではないかという話は、非常に魅力的でした。(司会 清井記)

平成21年度 第11回定例理事会議事録

日時：平成22年4月8日（木）18:30～20:30
 場所：京臨技丸太町事務所
 議長：今井
 書記：林 議事録署名人：今井、白波瀬
 出席者 会長：今井 副会長：白波瀬、石澤
 理事：青山、荻野、佐々木、高嶋、林雅弘、早瀬、藤崎、廣瀬
 山田、丹羽
 委任状提出：中村、林孝俊、小澤、廣瀬
 顧問：田畑 日臨技理事：湯浅 事務局：山方
 欠席理事：芦田、西川、豊山

【報告・連絡事項】

◎今井会長：

・白波瀬副会長：

4月3日 第5回近臨技医療フォーラム出席（大阪府病院年金会館）「認知症ってなに？」—脳の健康を守るため— 田中良示先生

◎荻野学術部長：

・3月12日；近臨技 チーム医療推進委員会会議（大臨技事務所）

奈良 2010年チーム医療実践セミナーについて：12月11日、午前；NST、午後；ICT, DM（奈良県中小企業会館）

◎小澤総務部長：

第59回日本医学検査学会実務協力依頼が届きました
 日臨技よりエイズ予防啓発小型リーフレット500部届きました
 次回行事予定表発送 4月22日（木）

◎豊山理事：

4月6日第45回京都病院学会第3回実行委員会出席

◎日臨技報告（湯浅日臨技理事）

平成22・23年度日臨技役員および執行体制

日臨技役員 会長、副会長、理事 35名、監事 2名

執行体制 総務部、渉外法制部、教育研修部、公益事業Ⅰ部、公益事業Ⅱ部、地区担当理事

【委嘱・承認事項】

1. 会員動向（別紙資料1）

会員総数 952名（4月5日現在）：新入会38名、退会6名、転入1名、転出3名、仮会員異動なし

2. 共催申請 子宮頸部細胞診様式（ベセダシステム）講演会
 日本バクトン・デッキンソン株式会社

【検討議案】

1. 役員選出について（今井）・・・承認

2. 京臨技22年度定期総会準備進捗について（林雅）・・・継続

3. 日臨技よりエイズ予防啓発小型リーフレット500部の配布方法について（林雅）

技師会主催のイベント会場での配布・・・承認

平成21年度第12回定例理事会予定

5月13日（木）18:30～20:30

会場：京都保健衛生専門学校

平成21年度 第12回定例理事会議事録

日時：平成22年5月13日（木）18:30～20:30
 場所：京都保健衛生専門学校 大会議室
 議長：今井
 書記：藤崎 議事録署名人：今井、小澤
 出席者 会長：今井 副会長：石澤
 理事：青山、荻野、小澤、佐々木、高嶋、中村、林雅弘、早瀬、藤崎、豊山、山田、
 委任状提出：廣瀬、林孝俊
 顧問：田畑、清井 日臨技理事：湯浅 事務局：山方
 欠席理事：白波瀬、芦田、西川、丹羽

【報告・連絡事項】

◎今井会長

4月9日（金）22年度京都保健衛生専門学校入学式

4月24日（土）近畿会長会議 大臨技事務所

◎総務部

・5月行事予定表発送 4月22日（木）

・京臨技22・23年度役員推薦委員会 4月23日（金）

会場：京都保健衛生専門学校

出席者：田畑委員、西畑委員、松岡委員、今井、小澤、林雅

・京臨技22年度予算編成委員会 4月30日（金）

会場：京都保健衛生専門学校

出席者：今井、白波瀬、小澤、山方

・京都府新公益法人移行動向調査 5月10日（月）

・京臨技21年度会計・業務監査 5月13日（木）

会場：京都保健衛生専門学校

出席者：江見監事、山口監事、今井、林雅、山方

・6月行事予定表発送（予定） 5月21日（金）

◎事業部

・第45回京都病院学会第4回実行委員会 5月11日（火）

会場：京都府医師会館 出席者：豊山

◎学術部報告

・荻野理事から JAMTIS 行事登録にて生化学研修会の開催日の誤入力があったが、5月1日に修正、対応済との報告。

◎日臨技報告（湯浅日臨技理事）

渉外法制部 報告なし

教育研修部 報告なし

公益事業Ⅰ部 *「マタニティーフェスタ2010」に実務員を派遣

日時 平成22年5月8日、9日

場所 東京ビッグサイト

* 日臨技精度管理調査参加申し込み施設数 3, 640（昨年3, 558）

公益事業Ⅱ部 埼玉糖尿病療養指導研修会、第8回埼玉糖尿

病療養指導フォーラムの単位認定

日臨技から通知済み書面

* 会長と語る夕べ 廃止

* AED 研修会 廃止

◎近臨技報告

①近臨技会長会議 4月24日(土)の日臨技への要望アンケート

理事からアンケートの趣旨について質問がだされ、今井会長、湯浅日臨技理事から説明を受けた後、会費納入・公益法人化などについて意見交換をした。

②会員向け近畿医学検査学会ポスター枚数確認

【委嘱・承認事項】

1. 会員動向(別資料1)・・・承認

小澤理事から5月10日現在、会員総数 963名(新入会9名、退会1名、転入5名、転出3名、仮会員異動なし)との報告を受けた。

2. 京都私立病院協会院内感染対策支援部員の推薦(3名)・・・承認

微生物研究班の林氏、小野氏、樋口氏の3名を推薦することとした。

3. 京都保健衛生専門学校オープンスクール参加者の病院見学協力依頼・・・承認

平成22年5月29日(土)、平成22年6月19日(土)、平成22年7月17日(土)、平成22年8月28日(土)、平成22年10月2日(土) 全日程11:00~12:00

小澤理事より医療関係機関へ進む人材を育てることを目的として、例年と同じように検査部と院内他部門を簡単に見学させていただきたいとの説明があった。協力施設への連絡は小澤理事がおこなうこととした。

4. 第37回くらしと健康展第1回実行委員会の出欠について・・・承認

5月26日(水)14:00- 京都府医師会館 出席:早瀬理事
委員会の出席は芦田副会長から早瀬理事へ変更をおこなった。

【検討議案】

1. 役員推薦委員会報告

田畑顧問から推薦理事の説明を受けた。

推薦理事 京都桂病院 辻 真一郎

京都府立医科大学附属病院 笹田 裕司

国立病院機構京都医療センター 岡 洋一郎

今井会長から、理事会体制が1名減になることについて説明

を受けた。1名については5月15日を最終期限として調整することとした。

2. 京臨技22年度定期総会について

①進捗状況、当日役割、総会委任状数について

林 雅弘理事から議案書作成の進捗状況説明を受けた。議案書の最終訂正期限を5月15日とした。委任状は現在373名との報告、理事で再度回収を進めることを確認。当日の理事役割について確認し、理事集合時間を12時半、受付開始を13時とした。

②予算案について

小澤理事から21年度決算、22年度予算案についての説明を受けた。
事業活動支出費が前年と比べ減ることについて討議をおこなった。

3. 京臨技個人情報保護方針について

山田理事から京臨技個人情報保護方針について説明を受けた。総会の議案書には資料として基本方針のみ加えることとした。詳細な規定については継続討議とした。

4. 京臨技OB会研修会について

清井顧問からOB研修会についての説明と石崎先生の経歴の紹介を受けた。

日時:平成22年5月29日(土)15:15~17:00

会場:京都保健衛生専門学校視聴覚教室

テーマ:「苔からみえる植物という行き方」

講師:石崎公庸 先生

5. 京臨技精度管理調査について

石澤副会長から今年度の京臨技精度管理調査の日程について提案を受けた。

血液コントロール血球の発注の関係から10月5日(火)か19日(水)を試料調整日とすることとした。

(血液コントロール血球は5/21発注 → 8/30出荷 → 使用期限:10/29を使用)

又、石澤副会長の後任(精度管理調査責任者)については継続討議とした。

平成22年度第1回定例理事会予定

6月10日(木)18:30~20:30

会場:京都府臨床検査技師会丸太町事務所

平成22年度 第1回定例理事会議事録

日時:平成22年6月10日(木)18:30~20:30

場所:京都府臨床検査技師会丸太町事務所

議長:今井

書記:林雅 議事録署名人:今井、白波瀬

出席者 会長:今井 副会長:白波瀬、小澤

理事:青山、荻野、岡、佐々木、笹田、高嶋、豊山、林孝俊、

林雅弘、廣瀬、藤崎、山田

委任状提出:中村、早瀬

顧問:田畑 日臨技理事:湯浅 事務局:山方

欠席理事:辻

【報告・連絡事項】

◎ 日本臨床衛生検査技師会

・日臨技平成22年度第1回定期総会

5月21日(金) 神戸ポートピアホテル

京臨技出席理事 今井、白波瀬(資格審査委員兼議事運営委員として)

・第1回近畿地区連絡協議会6月9日(水) 大臨技事務所

京臨技出席理事 今井

・湯浅日臨技理事報告

◎ 近畿臨床検査技師会

- ・平成22年度第1回定例理事会6月9日(水)大臨技事務所
京臨技出席理事 今井、白波瀬、小澤、荻野
日臨技報告
- ・日臨技代議委員会8月7日 会費自動引落としなど議論される
仏語圏アフリカ臨床検査技術コース研修 JICA
大阪での研修中止 事業仕分けにより

◎近臨技報告

- ・役員選出 近臨技会長：富永博夫(兵庫) 副会長：今井宣子(大阪)、山本慶和(奈良)
事務局長：森嶋祥之(大阪)
理事：伊藤善祐(福井)、村田正吾(和歌山)
会計：荒木年夫(大阪)
監事：今井秀一(京都)、吉田孝(滋賀)
- ・21年度事業・決算報告 別紙
- ・22年度事業計画・予算案 別紙
- ・第50回近畿医学検査学会(奈良)
22年12月11・12日
演題登録期間7/15・8/24 延長なし
記念事業予算150万円承認
- ・第51回近畿医学検査学会(滋賀)
23年10月29・30日
会場：ピアザ淡海ほか

◎ 総務部

- ・6月行事予定表発送5月21日(金)
- ・京臨技平成22年度定期総会5月29日(土)
出席558(内委任状518) 京都保健衛生専門学校
報告：すべての議案が承認された。
- ・京臨技OB会主催講演会5月29日(土)参加者28名
京都保健衛生専門学校
- ・第59回日本医学検査学会のお礼文書 田中久晴学会長より
学術集会4240名参加、一般公開「エイズチャリティーイベント」530名参加
- ・7月行事予定表発送(予定)6月22日(火)

◎ 事業部

- ・第45回京都病院学会第5回実行委員会6月1日(火)
京都府医師会館 出席者：豊山
- ・医療推進協議会第17回代表者会議6月4日(金)
京都府医師会館 出席者：山田
- ・第37回くらしと健康展第1回実行委員会5月26日(水)
京都府医師会館 出席者：早瀬

◎ 学術部

- ・学術委員会開催5月29日(土)
京都保健衛生専門学校

◎ 理事行動報告

【委嘱・承認事項】

1. 会員動向(別資料1)
会員総数973名(内会費未入金84名) 6月7日現在
新入会6名、退会0名、転入1名、転出1名、仮会員
入会4名

2. 日臨技精度管理調査WG委員委嘱
期間：22年4月1日から23年3月31日
委員：樋口武史、白波瀬浩幸、佐伯仁志

【検討議案】

1. 22・23年度京臨技理事役割分担について(別紙)
.....承認
➤ 提案された原案から一部変更があった
2. 京都府医療推進協議会2010イベント出展について
.....承認
日時)2010年9月23日(木、祝日)
会場)みやこメッセ
➤ イベント出展の申し込みを行う
➤ 出展内容は骨密度測定とする
3. 第37回くらしと健康展企画について.....承認
日時)9月18日、19日
会場)パルスプラザ京都府総合見本市会館
➤ 骨密度、血糖測定を実施する
4. 京臨技精度管理調査について.....継続
➤ 試料としている市販の管理血清・管理血球の販売について、医療機関以外(技師会「精度管理事業」)に体外診断薬(医薬品)を販売する行為について疑義がある
➤ 湯浅日臨技理事が、日臨技理事会で確認する
5. 京臨技個人情報保護方針について
.....継続

平成22年度第2回定例理事会予定
7月8日(木)18:30~20:30
会場：京都保健衛生専門学校 大会議室

第50回近畿医学検査学会

- ◇ 学会テーマ 「まほろばにて温故知新」明日につなげる臨床検査
- ◇ 開催期間 平成22年12月11日(土)、12日(日)
- ◇ 学会会場 奈良県文化会館(奈良市登大路町、近鉄奈良駅より徒歩5分)
- ◇ 50回記念公演 「土と役者と考古学 一纏向遺跡と歴史ロマン」(仮題)
荻谷俊介 先生(俳優、考古学協会員)

※ 演題申込期間 演題登録期間 7月15日~8月24日。締切り日は、延長いたしません。抄録本文は8月31日まで修正可能です。それまでに投稿完了してください。

平成22年度・23年度 理事・監事名簿

役職		氏名	所属
会長	再	今井 秀一	綾部市立病院
副会長（学術）	再	白波瀬 浩幸	京都大学医学部附属病院
副会長（総務）	新	小澤 優	京都保健衛生専門学校
副会長（事業）	新	早瀬 泰行	（株）いかがく
理事（学術部長）	再	荻野 和大	三菱京都病院
理事（事業部長）	再	林 孝俊	京都民医連中央病院 病理科
理事	再	佐々木 由紀子	京都市城南診療所
理事	再	廣瀬 真理	明治国際医療大学附属病院 病理部
理事	再	豊山 浩祥	京都桂病院
理事	再	林 雅弘	相馬病院
理事	再	青山 絹子	第二岡本総合病院
理事	再	高嶋 徹	公立山城病院
理事	再	中村 和彦	京都和光純薬（株）
理事	再	藤崎 智	京都民医連中央病院
理事	再	山田 宣幸	三菱京都病院
理事	新	岡 洋一郎	国立病院機構 京都医療センター
理事	新	笹田 裕司	京都府立医科大学附属病院輸血部
理事	新	辻 真一郎	京都桂病院
監事	再	江見 安一	自宅
監事	再	山口 俊朗	京都民医連中央病院

平成22年度・23年度 研究班長名簿

研究班	氏名	所属
生理	辻 真一郎	京都桂病院
生理（A・副）	野口 幸彦	三菱京都病院
生理（B・副）	鮎川 宏之	医仁会武田総合病院
輸血	相田 幸雄	京都南病院
臨床化学・免疫血清	後藤 直樹	京都保健衛生専門学校
血液	中西 加代子	京都大学医学部附属病院
病理・細胞	江口 光徳	宇治徳洲会病院
一般	佐伯 仁志	国立病院機構 京都医療センター
微生物	小野 保	京都第二赤十字病院
情報システム	増田 健太	京都大学医学部附属病院
北部学術	今田 尚文	市立舞鶴市民病院
チーム医療	荻野 和大	三菱京都病院